

第73回九州山口薬学大会 学校薬剤師協議会運営委員会 報告書

山口県学校薬剤師会

会長 西村正広

日 時：平成23年11月11日(金) 15:00～18:00

場 所：沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ

出席者：西村正広 沖田敏宜

1. 開会のことば

沖縄県学校薬剤師会 副会長 池間 正

2. あいさつ

沖縄県学校薬剤師会 会長 渡嘉敷 県

日本学校薬剤師会 会長 田中 俊昭

今後、日本学校薬剤師会は日本薬剤師会の学校薬剤師部会として活動していくとあいさつされる。協議中、組織について質問しようと思ったが中止した。

3. 協議

「くすり教育への学校薬剤師としての関わり方」

各県より報告

福岡県：教育委員会と話し合いで決める。CD作成し、地域学校薬剤師会に配布した。

保険主事を対象に研修会を実施した。

養護教諭新任研修会でくすり教育を加えた。

佐賀県：薬物乱用防止教育の中にくすり教育を加える。

長崎県：薬物乱用防止教育の中にくすり教育を加える。

熊本県：薬物乱用防止プロジェクトから健康教育プロジェクトに変更した。

「くすりの正しい使い方」は独立させ、「くすり」と「薬物」を完全に分離して話す。

大分県：CDを作成し配布した。

鹿児島：養護教諭新任研修会でくすり教育・薬物乱用防止を実施した。

宮崎県：健康教育推進委員会を発足させ、「薬ってな～に?」「げんきにくらそう」の教本をホームページからダウンロードできるようにした。

沖縄県：学校薬剤師に伝達講習を開催している。ゲストティーチャーの資料を配付予定。

山口県：中国ブロックの情報と当県のホームページからくすり教育・薬物乱用防止などの資料をダウンロードするためのパスワードを教える。

4. 次回開催県挨拶

福岡県薬剤師会 常務理事 大石 三樹雄

平成24年9月16日～17日に北九州市で開催する。

5. 閉会のことば 沖縄県学校薬剤師会 副会長 大城 恭子

レセプション終了後、別会場にて出席者と沖縄県学校薬剤師会との懇親会(参加費無料)が開催された。

## 第73回九州山口薬学大会禁煙対策協議会報告書

1. 日時 : 平成23年11月11日 13:00~14:30
2. 場所 : ハーバービューホテル 金鶏の間
3. 参加者 : 西村正広 沖田敏宜
4. あいさつ 沖縄県薬剤師会 理事 笠原大吾先生  
大分県から始まって、前回の山口県ではメーリングリストを実施した。着実に前進しているので、今回の協議会を有意義なものにして前に進みたい。
5. 協議「禁煙指導者のフォローアップを含めた継続教育について その問題点と対策」

### 福岡県

福岡県禁煙相談員養成研修を実施。修了者には、県知事名と薬剤師会会長名で修了証書を発行。相談員がいる薬局には、「卒煙サポート薬局」のステッカーを配布。

### 長崎県

平成23年1月に日本禁煙科学会認定「全国禁煙アドバイザー育成講習会 in 長崎」を開催。100名以上の参加あり。来年度は、平成25年1月に開催。今後は、行政とタイアップして行いたい。

### 熊本県

研修会を2回開催し認定審査会にて認定。1回2時間の更新研修会を受講して更新するが、現在、減少している。ビデオ研修も検討している。禁煙支援認定薬剤師が役立っているかが問題である。

### 宮崎県

今年度、禁煙支援薬剤師制度を作成し、30名程度の参加があり3月に認定する。宮崎県は、タバコ生産日本一である。

### 佐賀県

医師会と共同で禁煙の会を組織。未成年がタバコを買いに来た時などの対応をロールプレイで研修している。COPDへのアプローチや小学生への防煙教育なども行っている。

### 鹿児島県

1日かけて年1回研修会を開催し認定。25%の薬剤師が禁煙支援認定薬剤師で薬局の1/3がサポート薬局。認定薬剤師は、3年に1回更新。県と協同で作成したリーフレットを使用。

### 大分県

禁煙支援認定薬剤師が現在85名(5%)いる。計算上、大分県で282,000人の喫煙者が禁煙を希望している。

### 沖縄県

禁煙支援活動をやるなという人はいない。最初、230名34薬局であったが、更新は、87名16薬局と減少している。行政とタイアップして行きたい。

### 山口県

アンチドーピング特別委員会が禁煙を担当。2月に研修会を開催。3月に山口県たばこ対策ガイドライン改定版を発行。8月にたばこ対策指導者研修会を開催。認定制度は現在なし。

6. 日薬の禁煙に対する対応
  - ・ 薬剤師の喫煙率の調査
  - ・ 薬剤師による禁煙マニュアル作成
7. 長崎県など離島の多い県では、DVDによる研修も考えられるが、DVD研修は担保が無い為、支部での研修会とする。
8. 各県開催の研修会への参加について(昨年度の懸案事項)
  - ・ 福岡県以外参加可能であり、他県の研修会を単位とするか否かはその県の判断とする。

報告者 沖田敏宜